

新議会の体制決まる 新議長は飯塚氏、副議長は波多野氏 新型コロナウイルス対策調査特別委員会も設置

改選後初の議会が12日行われ、正副議長選挙、各常任委員会などの構成、特別委員会の設置などが行われました。

冒頭の議長選は、「輝」の飯塚義隆議員と私の争いとなりました。

投票に先立つ所信表明で私は、いまほど市民のいのちと健康、暮らしを守ることが求められているときはない、市民か



ら「市議会は役に立つ」と言われる議会をつくっていかうと訴えました。具体的には、①通年議会の実施、②執行機関と緊張関係を保持しつつ、監視、評価、積極的提言を重視する、③重要課題は全議員の英知を結集してがんばる、④議会報告会、市民との意見交換会の改革、を公約として掲げました。私の訴えは吉川タイムズの動画で見ることができます。投票の結果、飯塚義隆議員が26票獲得し、当選しました。私は6票でした。

負けはしましたが、私の訴えは多くの議員の心に響いたと確信しています。

副議長選は「みらい」の波多野一夫議員と市民クラブの近藤彰治議員が立候補し、所信表明を行いました。投票の結果、波多野議員が22票、近藤議員が10票獲得、波多野議員が当選しました。私

は近藤議員に1票投じました。

常任委員会の正副委員長については、下表の◎印が委員長、○印が副委員長です。この中で、日本共産党議員団の上野公悦議員が文教経済常任委員長に就任しました。日本共産党議員団からの常任委員長就任は上越市議会史上初です。

注目された特別委員会ですが、災害対策特別委員会と新型コロナウイルス調査対策特別委員会の設置が決まりました。災害対策特別委員会の委員長は橋本洋一議員、副委員長は私です。また、新型コロナウイルス調査対策特別委員会については石田裕一議員が委員長、杉田勝典議員が副委員長になりました。

新型コロナウイルス調査対策特別委員会については裏面でも書きました。

上越市議会常任委員会委員一覧 () は所属会派、その右は住所地

総務	厚生	農政建設	文教経済
◎滝沢一成 (輝) 北城町	◎渡邊 隆 (会派に属さず) 東城町	◎本山正人 (みらい) 安塚区	◎上野公悦 (日本共産党議員団) 頸城区
○江口修一 (創風) 港町	○牧田正樹 (市民クラブ) 大和	○山田忠晴 (公明党) 大潟区	○大島洋一 (創風) 頸城区
高山優子 (みらい) 門田新田	中土井薫 (みらい) 北城町	高橋浩輔 (みらい) 仲町	安田佳世 (会派に属さず) 住吉町
宮越 馨 (会派に属さず) 東城町	小林和孝 (輝) 大豆	宮崎朋子 (創風) 三和区	小山洋子 (創風) 大潟区
宮川大樹 (みらい) 大町	平良木哲也 (日本共産党議員団) 上中田	丸山 章 (会派に属さず) 清里区	鈴木めぐみ (輝) 岡崎新田
池田尚江 (創風) 清里区	波多野一夫 (みらい) 夷浜	橋本洋一 (創風) 板倉区	ストラットン恵美子 (みらい) 大潟区
栗田英明 (輝) 高土町	杉田勝典 (公明党) 春日山町	近藤彰治 (市民クラブ) 大貫	田中 聡 (輝) 中田原
橋爪法一 (日本共産党議員団) 吉川区	武藤正信 (創風) 柿崎区	飯塚義隆 (輝) 三田新田	石田裕一 (みらい) 浦川原区



【ツクバネウツギ】スイカズラ科の半常緑の低木。漢字で「衝羽根空木」と書きます。花は薄黄色で細長いラッパ型です。花期は5月～6月下旬。秋に、この実を探すには、羽根突きの羽根をさがす気持ちで探すと見つけやすいです。花言葉は「強運」「気品」「謙虚」。5月13日、吉川区小苗代にて撮影しました。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1959 2020.5.17

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六〇六回

母の昔話、健在

四月八日に緊急入院した母が一月ばかりに家に戻ってきました。母の長い入院は三年前、わが家の二階の屋根から落ちて五か月ほど入院したとき以来のことです。

病院からは、わが家に着くまで三〇分ほどかかりました。いつもなら、助手席に乗っていて、「ああ、ここはあやめフードだねかな。笹、持ってきたな」「ここは六万部か。河沢の親戚の家、あったな」といった調子で、次々としゃべるので、母は「この日、外の景色をほとんど見ず、しゃべろうとはしませんでした。」

午前一時過ぎにわが家に到着。いつもと少し違うなと思ったのは、車から降りて玄関に入るときでした。二か所で段差があり、歩きづらいこともあったでしょうが、靴を脱いで廊下まで上がると、「ああ、しんね」と言ったのです。やはり、疲れが残っていたのでしょね。

家が上がってからは、茶の間には直行せず、まずは母の寝室のベッドで休むようにすすめました。そこでしばらく寝ていれば疲れもとれるし、安心だと思ったのです。ところが、私がお家を一時間ほど離れている間に、びっくりするようなことが起きました。家族の者によると、一階で何か水の音がするのでなんだかと思ったら、ひとりですけないうちで母がトイレに行き、洗い場で手を洗っていたというのです。ベッドから歩いて移動したのでしょね。

お昼頃から、母はいつもの居間に移動しました。母が使っていた居間の電動イスは入院中も設置したままでした。久しぶりに電動イスに座った母は、電動イスを上げ下げしようとしたのですが、操作はなんとなくぎこちなく見えました。完全回復するまでにはまだまだ時間がかかると思いました。でも、テーブルの上に置いてあった山竹の子（根曲がり竹）に興味を示しました。

これは、その日の朝、大島区の従弟から分けてもらったものです。皮をむきやすいように切れ目を入れてありました。

「どうだね、皮、むいてみるかね」と言うと、母は切れ目を探し、そこに爪を入れてゆっくり皮をむきはじめました。昔からやってきたことは指が覚えているのでしょね、皮むきの手つきは初心者とは全然違います。びっくりするほど丁寧に、かつきれいにむいていきました。

最初、母は黙って竹の子の皮をむいていたのですが、一、二本むいたところで、「急にしやべりはじめました。」
「こりゃ、板山のシユウジ、採ってきたか」
「そだよ」
「ほしや、サンキョカ」
「サンキョ？」
「竹林寺から上に登って行ったとこ。てっぺんからスキーで滑ったがど」
「へー、そりゃ、知らなかった」
「学校の下に役場あって、役場の脇が大工さんの家、役場の下が宮本屋、その脇の高いところに観音様あった。そこで、ヨイヤナー、ヨイトーサーそって踊ったもんだ」

「そつすりゃ、学校は板山に行くはずれでなくて、田麦の真ん中にあったがか」
「そいが」
もともと、母は皮むきのような手作業が好きなんです。この日は従弟からもらった竹の子の皮を全部むき終わりました。病院で母が「飲みたい」と言っていたサイダーですが、私が少し出かけている間にさっそく一回飲んだそうです。竹の子の皮むきが終わってからも私と一緒に飲みました。飲み終わった母は、「サイダーは、やはり冷たい方がうまいな」と言いました。そして、再び母の昔話が始まりました。

実情を把握し、いつときも早く提言を

新型コロナウイルス対策調査特別委員会が設置された12日から審査をスタートさせました。この日の委員会では、審査をどう進めていくかの基本的な方向を中心に協議されました。

協議の中では、日本共産党議員団の上野議員が「先日、大湊区で行った懇談会では、もうタイムリミット、もう待てないところまで深刻な状況となっている」「これまでに各議員が市民の切実な声を聞き取っている。同時に、いろいろな分野の市民との懇談を行い、実情を把握することも重要だ。そうした声を持ち寄って提言をまとめ、すぐに提出するべきだ」とのべました。他の議員からも「まず、市民の考えを聞

きましよう。スピーディに提言を何度も出しましょう」「国や県への要望も出していくことが必要ではないか」「これまで共産党議員団などが要望書を出している。そうした情報も集約して取り組んだらどうか」などの声があがりました。

これらのことを受けて、次の委員会では各議員が情報を持ち寄って協議することになりました。今回は15日（金）に開催されます。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月6日(水)	5月13日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.060	0.057
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.053	0.057